

2025年度みかん・中晩柑類葉面散布

(株) 山東農園 [フリーダイヤル] 0120-09-9393 [FAX] 073-478-2655

早生みかん

散布時期	商品名	倍数	備考
収穫直後 2月10日 2月20日	ケルパック 尿素 ベニダスK ロイヤルリン加里	3000倍 500倍 5000倍 5000倍	花芽分化促進・耐寒性の向上 樹勢回復・有葉果率向上 開花数の増加・有葉花数の増加
3月1日 3月10日 発芽前	プロリン 3号 尿素 ベニダスK 色一番E	2000倍 500倍 5000倍 5000倍	花芽の充実・優勢花を作る 有葉果率向上・一次生理落果防止 結実数の増加
蕾小豆大期 と 開花前	プロリン 3号 尿素 ベニダスK カルビタPK	2000倍 500倍 3000倍 1000倍	果実肥大促進 子房の充実・一次生理落果防止 結実数の増加 細胞分裂促進
5月 (2回)	ベニダスK 尿素 カルマグホウ素	3000倍 500倍 1000倍	収量増加 幼果肥大促進・生理落果防止 細胞分裂促進・生理落果防止
6月 (2回)	元気一番 アミノマリーン 鉄入りマグミー	1000倍 2000倍 1000倍	光合成向上・緑化促進 二次生理落果防止・緑化促進 緑化促進・光合成の向上
7月 (2回)	カルビタ 色一番E	1000倍 3000倍	浮皮防止 (果皮細胞壁強化) 糖度向上と減酸促進
8月 (2回)	ロイヤル・クエン ロイヤル・ブドウ	5000倍 500倍	高温・熱帯夜による減酸・糖の消耗対策
9月	カルビタ グルタン	1000倍 500倍	浮皮防止 (果皮細胞壁強化) 納豆菌資材 (台風前に散布)
10月/11月 (各1回~2回)	カルビタP ロイヤルシリカPK ベニダスK	800倍 1000倍 4000倍	糖度UP・浮皮防止 (果皮細胞壁強) 浮皮防止 (乾燥)・収穫後の予措促進 濃紅発現・糖度向上

中晩柑類

散布時期	商品名	倍数	備考
収穫直後 2月10日 2月20日	ケルパック 尿素 ベニダスK+ロイヤルリン加里	3000倍 500倍 各5000倍	花芽分化促進・耐寒性の向上 樹勢回復・有葉果率向上 開花数の増加・有葉花数の増加
3月1日 3月10日 発芽前	プロリン 3号 尿素 ベニダスK+色一番E	2000倍 500倍 各5000倍	花芽の充実・優勢花を作る 有葉果率向上・一次生理落果防止 結実数の増加
蕾小豆大期 と 開花前	プロリン 3号 尿素 ベニダスK カルビタPK ミネラル源 (1kg)	2000倍 500倍 3000倍 1000倍 1000倍	果実肥大促進 子房の充実・一次生理落果防止 結実数の増加 細胞分裂促進 奇形果予防 (必須)
5月 (2回)	プロリン 3号 尿素 カルマグホウ素PK	2000倍 500倍 1000倍	着果率の向上・果実肥大促進 幼果肥大促進・生理落果防止 細胞分裂促進・生理落果防止
6月 (2回)	ケルパック 元気一番 アミノマリーン 鉄入りマグミー	5000倍 1000倍 2000倍 1000倍	光合成向上・緑化促進・発根促進 光合成向上・緑化促進 二次生理落果防止・緑化促進 緑化促進・光合成の向上
7月 (2回)	ケルパック 元気一番 アミノマリーン 鉄入りマグミー	10,000倍 1000倍 2000倍 1000倍	光合成向上・発根促進 光合成向上・果実肥大促進 樹体に必要なアミノ酸の補給 着色向上
8月	ケルパック 鉄入りマグミー	10,000倍 1000倍	光合成向上・発根促進 樹体能力の向上
9月 10月	プロリン 1号 元気一番 鉄入りマグミー カルビタPK	4000倍 1000倍 1000倍 1000倍	果実肥大促進 糖度UPなど品質向上 糖の転流促進・果実周辺の苦土欠予防 コハン症予防 (果皮細胞壁強化)
11月上旬	ケルパック 尿素	1500倍 500倍	水腐予防 (デコ周辺の細胞強化)
11月~ 12月	ケルパック カルビタPK 尿素 色一番E	3000倍 1000倍 500倍 3000倍	水腐予防 (デコ周辺の細胞強化) コハン症予防 (果皮細胞壁強化) 果皮障害の防止 & 翌年の花芽対策 着色促進・糖度UP・肥大促進

- 8月・9月の高温時のリン酸散布は、果皮に緑斑の発生する恐れがあるのでカルビタを使用しカルビタP・PKは、10月に使用してください。
- 品質向上は、着色6分時のロイヤルシリカPKとベニダスKの散布も極意です。
※白い汚れ防止として必ず展着剤 (まくびか5000倍) を混用してください。
- 早生みかん以降の品種で毎年結実させるには、10月下旬に着色8分以上で元気一番1000倍・鉄入りマグミー1000倍を混用散布する。(11月必須散布)